

## 折々の記 No174 : 農事事始め！

(H23/6/4 記)

前代未聞の茶番劇である。日本の政治家のレベルもここに極まれりか？次期総選挙に出馬しないと明言した人が、現職総理をペテン師とのたまうのだから、これを茶番と言わずして何と云う。それにしても、密室談合の世界の話なので、明確には解らないが、あの合意確認書は早期退陣を明確にしていることは明らかにも拘らず、なんと云う姑息、恥じ知らずの鉄面皮なのだろう。信じられない。

踊らされ、梯子を外された民主党議員は怒れ。信念をもって不信任案に賛成票を投じた松木議員は偉い。

党内からも批判され、国民から支持されないと見極めると、今日(6月4日)夕刻には、その発言を微妙に変化させている。何たる節操の無さか。菅総理は人間としても失格だ。即刻辞任するべきだ。



さて、来月からは、サンデー毎日になる小生の次なる生き甲斐を見つけた。

新座市民農園を借りられたのである。貴官は今年度末となっているが、希望により来年12月までは借りられるようだ。一区画24㎡(7坪余り)である。短辺約4m、長辺約6mだろう。共同の便所、水道完備の数十画の一つだ。見ての通り草ぼうぼうだ。先が思いやられる。

### 1 先ずは服装と資材の準備から！

幼き頃に手伝ったことはあったとしても、全くのど素人である。何から手を付けていいか不明である。顧問室の同僚顧問の話聞くものの、取りあえず本屋で初歩の参考書を購入した。

麦藁帽子に長靴、クワ、スコップとレーキが揃えば恰好だけは一人前だ。使い古したYシャツがお勧めとの同僚顧問の意見は当然取り入れた。

### 2 次は土づくりだ！

見ての通りの草が相当に蔓延っている。前の使用者が暫く放置していたのだろうか。何れにしても草を取り、畑に鍬を入れて、土を軟らかくする必要がある。ホームセンターで所要の資器材を購入して、昼食もそこそこに畑に出かけた。畑には如何にもベテランと思しき人があり、お近づきの挨拶をし、今後のご指導をお願いする。

隣は、小生と同じ全くの初心者という中年の夫婦であり、当方と同じ草取りである。中腰での鍬入れは流石にきつく、度々腰を伸ばす。思いのほか捗らない。が、途中で止めては全般栽培計画を変更しなければならなくなる。と云うのも、今日明日で畑を耕し、土づくりをして、一週間寝かせて苗を買ってきて来週には植え付けをしたいのだ。

今日中に苦土石灰まで散布し、明日には施肥をしておきたいのだ。本来と云うか、教



本によれば、植え付けの2週間前に苦土石灰を混ぜ込んで酸度の調整を行い、1週間前には、施肥をするとなっているのだ。教本通りに行えば時機を失してしまいそうだから、酸度調整と施肥を同時にやっしまおうとの魂胆だ。従って、本日中に苦土石灰を混ぜ込まねばならないという訳だ。

### 3 畝づくりと苦土石灰混ぜ込み

本来であれば、畑全面に亘って酸度調整のための苦土石灰混ぜ込みをすべきなのだろうが、畝を作って畝上面に石灰を巻き施肥すれば効率的だろうと判断して、短辺に沿って6個の東西畝を立てることとした。最後の気力を振り絞って、畝立てをするがヘトヘトだ。写真は仕事終わりの状況。



### 4 飛ばし過ぎたか？

必要性に迫られたとはいえ、流石に初日から飛ばし過ぎだ。明日は節々が痛いかな？